

案内

平成 28 年度 看護診断学会研修会

1. 慢性期ケアにおける看護診断

日時：12月18日(日)9:00～12:00

会場：TKP ガーデンシティ京都(京都市府京都市)

プログラム：「A氏看護診断についての事例展開」事例の看護診断とケア、ワークショップ、グループディスカッション、発表、解説／「慢性ケアにおける看護診断概念」無力感“自尊感情”などの解説
定員：100名

参加費：会員1000円、非会員3000円

2. 急性期ケアにおける看護診断

日時：2017年1月22日(日)13:00～16:00

会場：ビジョンセンター東京(東京都中央区)

プログラム：【外傷事例】看護診断名「家族コーピング促進準備状態」、中範囲理論「心理学的ストレスと対処の理論」の解説／【周手術期事例】看護診断名「ボディイメージ混乱」、中範囲理論「ボディイメージ理論」の解説
定員：100名

参加費：会員1000円、非会員3000円

申し込み・問い合わせ(1・2共通)：Eメール(k.shimomai@kkiac.jp)にて、①

氏名、②所属、③連絡先電話番号記載のこと

案内

2017 年第 26 回 国際看護師協会(ICN) 4 年毎大会

日時：2017年5月27日(土)～6月1日(木)

会場：スペイン・バルセロナ国際会議場

テーマ：最前線の看護師たち—ケアの変容

プログラム：開会式／世界的な看護リーダーによる基調講演／各国看護師による演題発表／スペインの看護実践や保健医療について学べる大会主催の施設見学ほか

対象：看護師、看護学生その他

参加費：会員525ユーロ、非会員660ユーロ、学生240ユーロ

申し込み：日本語での大会参加登録代行は10月下旬より開始

※前期参加登録締切は2017年2月17日(金)

問い合わせ：日本看護協会国際部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL：03-5778-8559

FAX：03-5778-8478

E-mail：kokusai@nurse.or.jp

URL 英語：

<http://www.icnbarcelona2017.com/en>

日本語：

<http://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/update/taikai/index.html>

案内・演題募集

日本地域看護学会 第 20 回学術集会

日時：2017年8月5日(土)～6日(日)

会場：別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ(大分県別府市)

テーマ：地域包括ケア時代の地域看護の新展開——歩前に進んで、つながり、地域ケアを創出する

プログラム：会長講演「地域の未来を支える地域看護学の構築」村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長・会長)／20周年特別講演「新しい地域看護への示唆—米国における地域包括高齢者ケアの実践と研究から」Kathy Magilvy(コロラド大学名誉教授)／シンポジウムⅠ：実践者のパワーアップに向けた地域看護の新展開

①「課題を解決するための地域資源の活用(仮)」図司和子(大分県国東市国見中学校長、養護教諭)、②「『地域ケア』の看護力発揮の心得」佐々木真理子(大分県豊寿苑訪問看護ステーション在宅事業管理部長)、③保健師として地域に責任を持ち、一歩進んで地域資源を創る」堀井とよみ(京都看護大学教授)、④地域資源としての大学—大学と実践現場で協働で取り組む保健師現任教育」小野美奈子(宮崎県立看護大学地域看護学教授)／シンポジウムⅡ：看護基礎教育で地域志向の芽を養う①「GIS(地理情報システム)を活用した地域看護診断をとおして(仮)」大河内彩子(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野准教授)、②「在宅看護学で学ぶ個別ケアのための地域アセスメント」

河野あゆみ(大阪市立大学大学院看護学研究科教授)、③地域を志向した予防的家庭訪問実習の取り組みとその効果」岩崎りほ(大分県立看護科学大学助教)、④「日本地域看護学会が提唱する学士課程における地域看護学(仮)」石橋みゆき(千葉大学大学院准教授)／市民公開講座「ゴミ屋敷に住む人々—助けを求めない人々を地域でどう支えるか」岸恵美子(東邦大学看護学部公衆衛生看護学教授)／教育講演Ⅰ「健康寿命日本一への取り組みにソーシャルキャピタルをどう活用するか」藤内修二(大分県福祉保健部参事監)、Ⅱ「在宅療養支援研究の最前線」永田智子(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野准教授)、Ⅲ「NPの技量を訪問看護に活かす」光根美保(大分県厚生連訪問看護ステーションつるみ管理者)、Ⅳ「地域包括ケアの奔流の中で地域看護職のカラーを視える化する」成瀬昂(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野講師)／指定集会Ⅰ「災害時の保健活動について—熊本・大分地震への支援を振り返って」、Ⅱ「地域包括ケア時代に地域を志向した新しい看護学実習」(予防的家庭訪問実習)を経験して」

参加費：(事前)会員9500円、非会員1万円、学生(院生除く)2000円

(当日)会員1万1000円、非会員1万2000円、学生(院生除く)3000円

事前申し込み期間：2017年1月10日(火)～6月30日(金)

一般演題・ワークショップ・自由集会受付期間：2017年1月10日(火)～3月7日(火)

事前参加・一般演題等申し込み：URL(<http://jachn20.umin.jp>)より

問い合わせ：学会事務局

〒870-1201 大分県大分市廻栖野2944-9

大分県立看護科学大学看護学部広域看護学講座／地域看護学研究室

E-mail：jachn2017@gm.oita-nhs.ac.jp